

2025年9月の天候（山形県）

目 次

- 1 天候経過
- 2 日々の気圧配置
- 3 気候統計値
- 4 気象経過図
- 5 気象分布図
- 6 極値・順位値更新表
- 7 その他

山 形 地 方 気 象 台

本資料に関する問い合わせ先

山形地方気象台

T E L 023-622-0632

[注意事項]

本資料に掲載されている観測値は断り書きがない限り、山形は気象官署、酒田・新庄は特別地域気象観測所、鶴岡・長井・米沢は地域気象観測所の観測値を使用しております。資料中の観測値は、後日、内容を訂正・追加する場合があります。

なお、本資料の著作権は山形地方気象台が有しています。掲載されているデータや図表を利用する場合は「山形地方気象台の資料に拠った」旨記載してください。

また、営利を目的に増刷など行う場合は所定の手続きに拠るものとします。

1 天候経過（2025年9月）

【今月の特徴】

○高温 ○多雨

- ・村山、左沢で1日の日最高気温の高い方から9月として1位を更新した。
- ・村山や荒沢などの7地点で月降水量の多い方から9月として1位を更新した。

【概況】

月

この期間、天気は周期的に変化した。上旬から中旬は前線や低気圧の影響により曇りや雨の日が多く、特に17日から18日にかけては前線や低気圧の影響により広い範囲で大雨となった。その後は高気圧に覆われて晴れたが、低気圧や前線の影響等により曇りや雨の日があった。また、南から暖かい空気が流れ込みやすく、気温が平年より高い日が多かった。

月平均気温は、庄内・置賜でかなり高く、村山・最上で高く、かなり高い所があった。月降水量は、村山でかなり多く、庄内・最上・置賜で多く、かなり多い所もあった。月間日照時間は、平年並から多く、村山・置賜ではかなり多い所があった。

上旬

前線や低気圧の影響で、天気は短い周期で変わり雨の降る日が多かった。

旬平均気温は、高く、かなり高い所があった。旬降水量は、村山・置賜はかなり多い。庄内・最上は多く、かなり多い所があった。旬間日照時間は、平年並で、村山・置賜は多い所があり、庄内・最上は少ない所があった。

中旬

高気圧と前線や低気圧が日本付近を交互に通過し、天気は周期的に変化した。17日から18日にかけて、前線や低気圧の影響により広い範囲で大雨となった。

旬平均気温は、高く、かなり高い所があった。旬降水量は庄内・最上で多く、かなり多い所があった。村山・置賜は、平年並から多く、かなり多い所があった。旬間日照時間は、平年並から少ない。

下旬

高気圧に覆われ晴れの日が多かったが、低気圧や前線の影響で雨の降る日があった。

旬平均気温は、高く、庄内ではかなり高い所があった。旬降水量は、庄内で平年並か多く、少ない所やかなり多い所があった。最上は平年並か少ない。村山・置賜は平年並か多い。旬間日照時間は、多く、かなり多い所があった。

2 日々の気圧配置（2025年9月）

- 1 日：高気圧が、東北地方を緩やかに覆う。一方、前線が華中から日本海にのびており、前線上の低気圧が、沿海州から北海道へ進む。
- 2 日：高気圧が、東北地方を緩やかに覆う。一方、前線が華中から北日本にのびており、前線上の低気圧が、日本海から北海道へ進む。
- 3 日：低気圧が、北海道から千島の東へ進み、前線が東北地方を南下する。一方、高気圧が日本海を東へ移動する。
- 4 日：高気圧が、日本海から千島の東に移動する。一方、前線が関東の東に停滞している。また、台風第 15 号が九州を北上する。
- 5 日：前線が、日本海から東北南部を通して、日本の東にのびている。また、台風第 15 号が本州の太平洋側を東へ進み、日本の東で温帯低気圧に変わる。
- 6 日：高気圧が、日本海にあって東へ移動する。一方、東北地方は気圧の谷や湿った空気の影響を受ける。
- 7 日：高気圧が、東北地方を緩やかに覆う。一方、低気圧が日本海北部から北海道へ進み、前線が華中から日本海を通して北日本へのびている。
- 8 日：前線が、華中から東北地方を通して日本の東にのびている。
- 9 日：前線が、東北南部に停滞している。
- 10 日：前線が、東北南部から関東地方へ南下する。一方、高気圧が日本海から千島近海へ移動する。
- 11 日：前線が、西日本から東北南部を通して日本の東にのびており、次第に南下した。
- 12 日：高気圧が、北日本を緩やかに覆う。
- 13 日：低気圧が朝鮮半島から北海道へ進み、温暖前線が、東北地方を北上した。
- 14 日：低気圧が北海道から千島近海へ進み、寒冷前線が、北日本を通過した。
- 15 日：高気圧が、東北地方を緩やかに覆う。
- 16 日：高気圧が、日本付近を緩やかに覆う。一方、前線が、華中から朝鮮半島を通して日本海へのびる。
- 17 日：前線が、華中から日本海を通して、東北地方にのびている。
- 18 日：前線が、華中から東北地方を通して日本の東へのびており、低気圧が日本海から東北地方を通過し、日本の東へ進む。
- 19 日：北日本は、高気圧に覆われる。
- 20 日：低気圧が、朝鮮半島から東北地方へ進み、温暖前線が東北地方を通過した。
- 21 日：低気圧が、北海道から千島近海へ進み、寒冷前線が本州を通過した。一方、高気圧が中国東北区にあって、南東に移動する。
- 22 日：高気圧が、日本付近を緩やかに覆う。
- 23 日：高気圧が、日本付近を緩やかに覆う。
- 24 日：高気圧が、千島の東にあって、東北地方を覆う。一方、低気圧が朝鮮半島から日本海へ進む。
- 25 日：低気圧が、日本海を北東へ進み、前線が東北地方を通過する。
- 26 日：高気圧が、華北にあって東北地方を緩やかに覆う。
- 27 日：高気圧が、北日本を緩やかに覆うが、寒気や気圧の谷の影響を受ける。
- 28 日：高気圧が、東北地方を緩やかに覆う。一方、低気圧が朝鮮半島から日本海へ進む。
- 29 日：低気圧が、日本海から東北地方を通り、日本の東へ進む。
- 30 日：高気圧が、東北地方を緩やかに覆う。

3 気候統計値（2025年9月）

・2025年9月の平均気温、降水量、日照時間

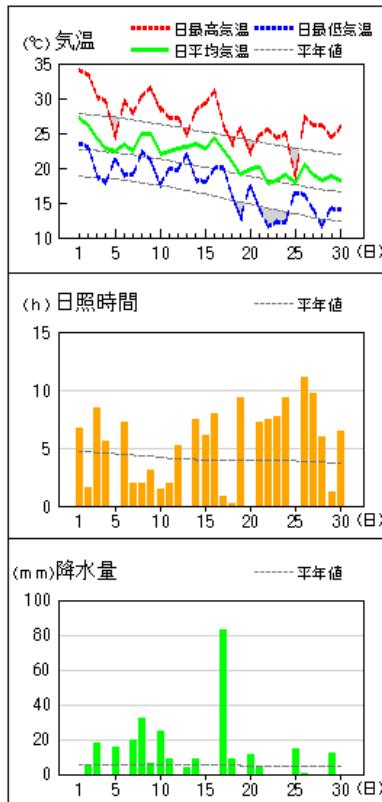
		平均気温（℃）			降水量（mm）			日照時間（h）		
		本 年	平年差 （℃）	階級区分	本 年	平年比 （%）	階級区分	本 年	平年比 （%）	階級区分
山形	上旬	25.4	+2.4	かなり高い	168.5	459	かなり多い	49.6	102	平年並
	中旬	23.2	+2.3	かなり高い	45.0	93	平年並	34.7	77	少ない
	下旬	19.7	+1.7	高い	32.0	82	平年並	71.5	167	かなり多い
	月	22.8	+2.2	かなり高い	245.5	198	かなり多い	155.8	114	多い
酒田	上旬	25.7	+1.9	高い	112.0	204	多い	61.3	107	平年並
	中旬	23.7	+2.0	かなり高い	104.0	145	多い	45.4	90	平年並
	下旬	21.4	+2.2	かなり高い	40.5	81	平年並	73.9	148	かなり多い
	月	23.6	+2.0	かなり高い	256.5	146	多い	180.6	115	多い
新庄	上旬	24.1	+1.8	高い	121.0	276	かなり多い	38.0	82	少ない
	中旬	22.2	+2.1	かなり高い	124.0	234	かなり多い	38.9	96	平年並
	下旬	18.8	+1.5	高い	31.5	72	平年並	66.1	172	かなり多い
	月	21.7	+1.8	かなり高い	276.5	197	かなり多い	143.0	114	多い
米沢	上旬	24.6	+2.1	かなり高い	85.5	219	かなり多い	50.8	98	平年並
	中旬	22.8	+2.4	高い	48.0	96	平年並	38.7	84	少ない
	下旬	18.9	+1.4	高い	28.5	73	平年並	69.4	166	かなり多い
	月	22.1	+2.0	かなり高い	162.0	126	多い	158.9	114	多い

注】次の表示 X:欠測) : 準正常値] : 資料不足値 - : 現象なし （平年値は1991～2020年の平均値）

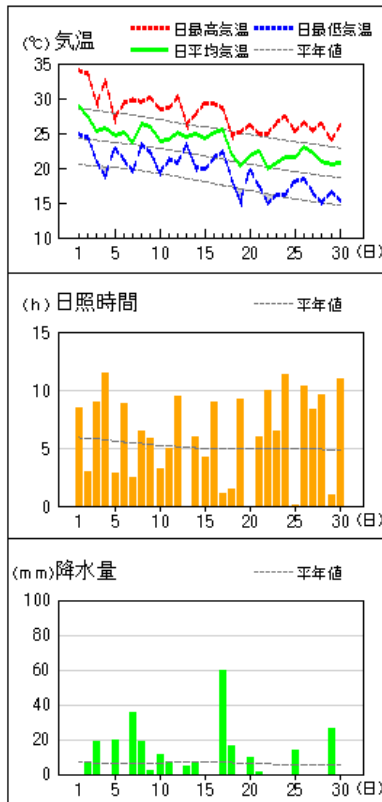
4 気象経過図（2025年9月）

アメダス 気象経過図：2025年09月01日-2025年09月30日

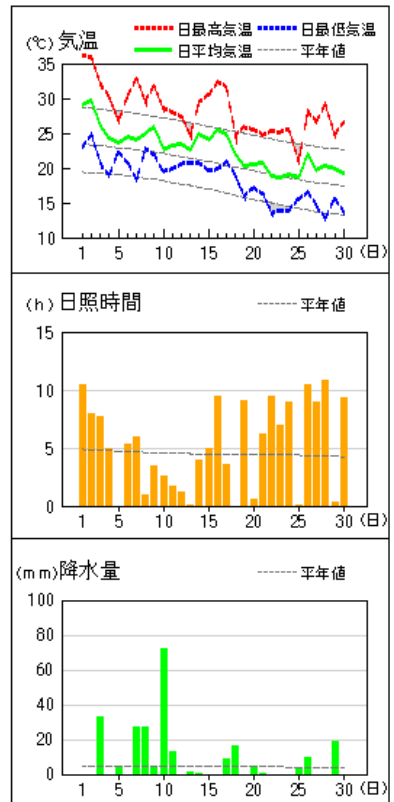
新庄



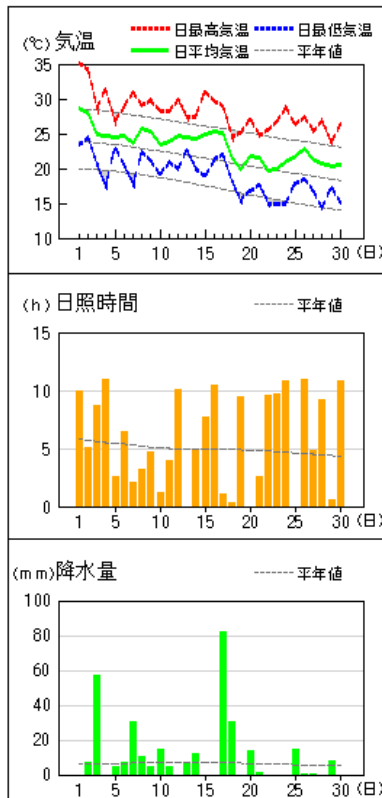
酒田



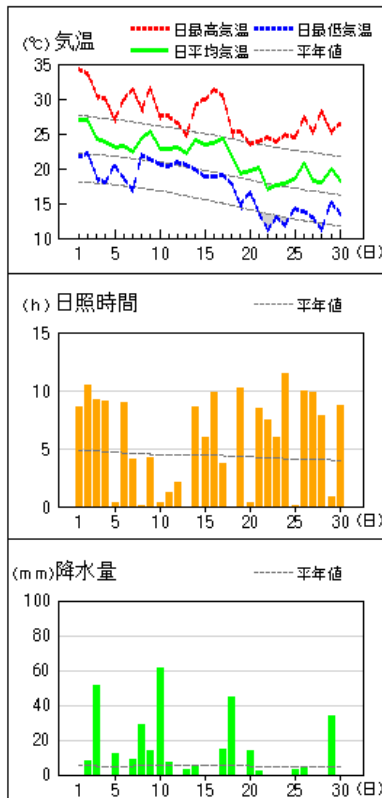
山形



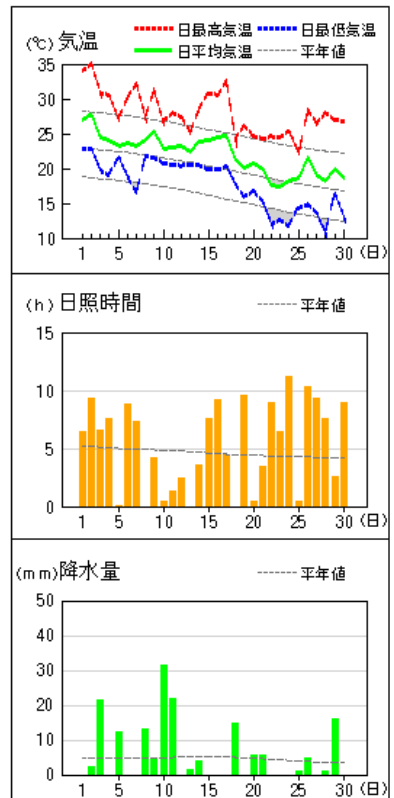
鶴岡



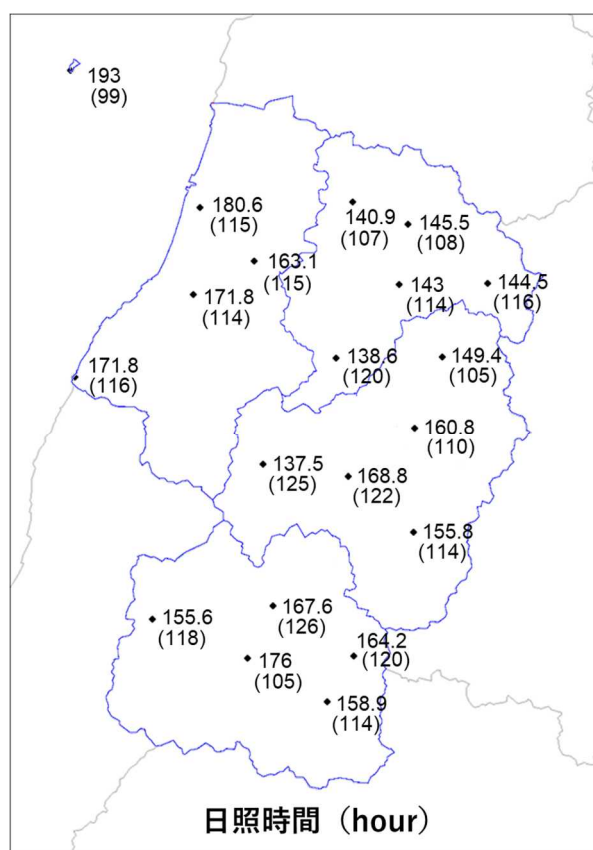
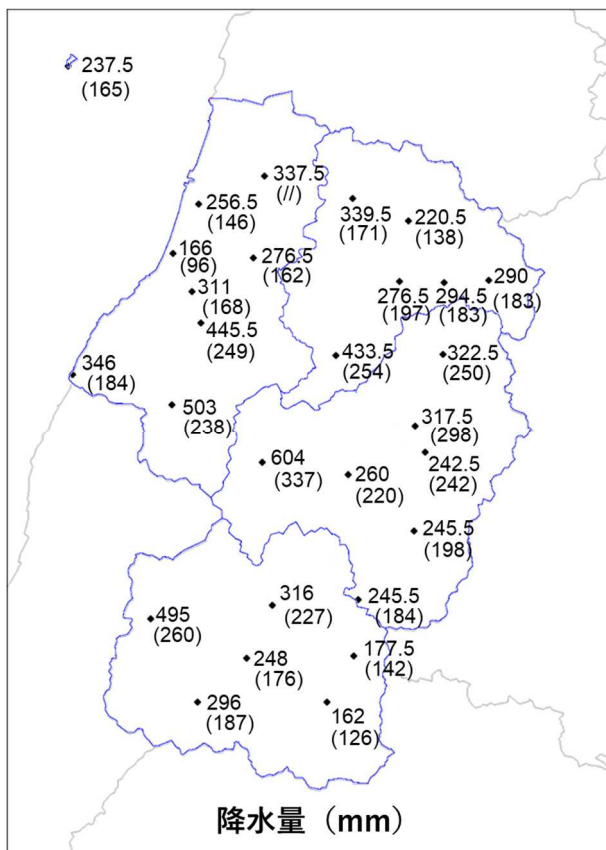
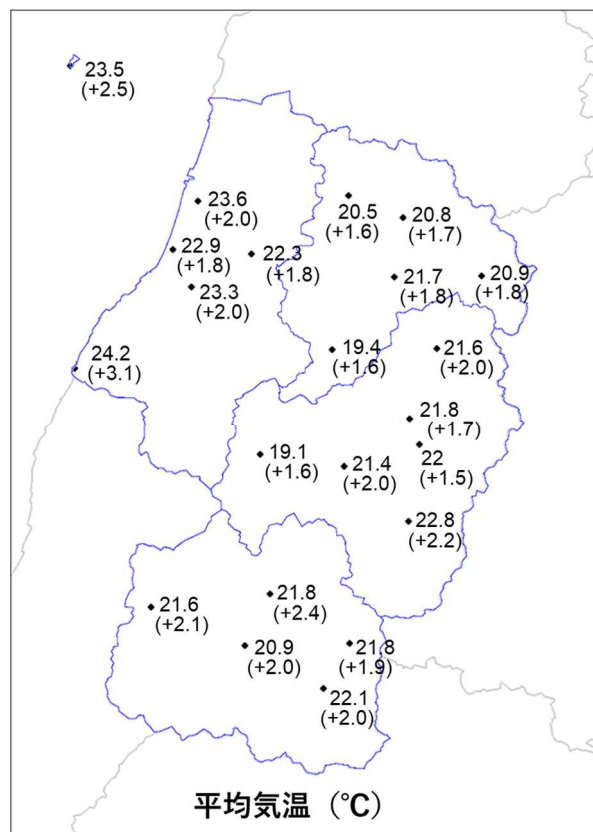
長井



米沢



5 気象分布図（2025年9月）



注】Xは欠測、)は準正常値、]は資料不足値を示す。

平均気温の()内は平年差(°C)、降水量の()内は平年比(%)、日照時間の()内は平年比(%)を示す。

//は平年値なし。平年値は1991～2020年の平均値。

6 極値・順位値更新表 (2025年9月)

気象官署及び特別地域気象観測所(山形・酒田・新庄): 9月として1位～3位更新を記載

要素名 (単位)	地点名	観測値	順位	観測日	統計開始
月平均気温の高い方から (℃)	酒田	23.6※	3	—	1937年

※同じ値(タイ記録)の場合は起日の新しい方を上位とする

地域気象観測所(山形・新庄・酒田除く): 9月として1位更新を記載(統計期間10年以上)

要素名 (単位)	地点名	観測値	順位	観測日	統計開始
日最高気温の高い方から (℃)	村山	35.9	1	1日	2002年
	左沢	34.8	1	1日	1977年
日降水量 (mm)	大井沢	154.5	1	17日	1979年
日最大1時間降水量 (mm)	櫛引	58.5	1	3日	1977年
	肘折	39.5	1	3日	1977年
	村山	32.5	1	8日	2002年
	大井沢	44.0	1	17日	1979年
	瀬見	31.0	1	17日	1976年
日最大10分間降水量 (mm)	村山	11.5	1	3日	2009年
	中津川	17.5	1	10日	2009年
	荒沢	17.5	1	25日	2009年
日最大瞬間風速・風向 (m/s・16方位)	高峰	14.8 N	1	17日	2009年
月降水量の多い方から (mm)	村山	317.5	1	—	2002年
	荒沢	503.0	1	—	1979年
	小国	495.0	1	—	1976年
	尾花沢	322.5	1	—	1976年
	肘折	433.5	1	—	1977年
	櫛引	445.5	1	—	1977年
	大井沢	604.0	1	—	1979年

※同じ値(タイ記録)の場合は起日の新しい方を上位とする

7 その他

なし

※各種観測値、統計値や平年値及び季節予報は、気象庁ホームページに掲載しています。

【気象資料】 <https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/index.php>

【気象データのダウンロード(CSV)】 <https://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/obsdl/index.php>

【季節予報】 https://www.jma.go.jp/bosai/season/#area_type=offices&area_code=060000